

令和6年度国際親善姉妹都市学生訪問団が 米国アイダホフォールズ市を訪問しました



東海村と米国アイダホフォールズ市は昭和56年に国際親善姉妹都市の盟約を締結して以来、現在までに延べ1,000人以上の方々が相互に親善訪問や学生のホームステイを実施するなど、43年にわたり交流を続けています。今回は、約5年ぶりに本村から学生訪問団がアイダホフォールズ市を訪問し、現地でたくさんの方々と異文化交流を行いました。

【問い合わせ】政策推進課国際・国内交流推進担当(☎282-1711 内線1306)

【訪問日程】

期 日	内 容
7月25日	出国…役場で出発式を行った後、正午ごろバスで成田空港へ出発 乗り継ぎ空港(デンバー)で1泊
26日	乗り継ぎ空港(デンバー)からジャクソンホール空港へ 現地時間の夜にアイダホフォールズ市に到着、 歓迎会
27・28日	ファミリーデー(各自ホストファミリーと過ごす)
29日	イエローストーン国立公園見学
30日	EBR-1(原子力関係の博物館)・CAES(先端エネルギー研究センター)・消防署見学、市長表敬訪問
31日	ラグーン(遊園地)
8月1日	アイダホ博物館・図書館・ロデオ見学
2日	川遊び、ファミリーデー
3日	ファミリーデー
4日	ファミリータイム、送別会(イースターやハロウィーン、クリスマスなどの伝統行事を体験)
5日	帰国…アイダホフォールズ空港からデンバー空港を経由し、日本時間の8月6日午後2時30分ごろ成田空港に到着



ジャクソンホール空港にて



イエローストーン国立公園



原子力博物館にて



アイダホ博物館にて



ロデオ鑑賞



川下り

訪問団員メンバーの“声”

■秋山百々子さん(学生訪問団学生リーダー)

期待と不安を抱く私たちに、アイダホフォールズ市の皆さんは優しく声を掛け、温かく迎え入れてくれました。言葉の壁はあったけれど、だからこそ人と関わることの大切さや異文化を知ることの楽しさを、改めて学ぶことができましたように感じます。今回の訪問は、間違いなく私の将来の大きな糧となるでしょう。これからの活動も有意義なものとなるよう、大切に取り組んでいきたいです。



■五十嵐蓮さん(学生訪問団学生副リーダー)

私たち東海村姉妹都市交流協議会ユースグループは、村の代表としてアイダホフォールズ市を訪問しました。コロナ禍により、5年ぶりの訪問ということで緊張していましたが、無事に到着し現地の方々と交流できたことを心からうれしく思います。自ら現地に赴いて話さないと分からないことがたくさんあり、改めて直接コミュニケーションを図ることの大切さを実感しました。これからもユースグループの一員として、よりよい関係構築に尽力していきます。

■小原寛大さん(学生訪問団学生副リーダー)

私は以前から海外に行くことが憧れであり、一つの夢でもありました。そんな中、姉妹都市学生訪問団としてアイダホフォールズ市を訪れ、現地で多くの交流やさまざまな体験ができたことは、とても良い思い出となりました。初めは不安なことも多かったけれど、明るく元気なホストファミリーと優しい皆さんのおかげで不安はなくなり、早く慣れて交流がとても楽しいものとなりました。



【訪問団員】

高等学校	1年生	男子	6人
		女子	3人
中学校	3年生	男子	2人
		女子	2人
	1年生	男子	1人
引率者			3人
合計			17人



あなたも国際交流しませんか？

姉妹都市交流協議会の会員を募集中！

【会費(年額)】

- ▼一般会員…………… 2,000円
- ▼学生会員(ユースグループ)… 1,000円
- ▼家族会員…………… 1,000円
- ▼団体・賛助会員 …… 1万円

【申し込み・問い合わせ】東海村姉妹都市交流協議会事務局(政策推進課内 ☎282-1711 内線1306)



▲姉妹都市交流協議会HP



▲ユースグループInstagram



市長表敬訪問



ラグーン(遊園地)にて

ハロウィーン仮装



送別会